2026年９月期　決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月16日

上場会社名　　株式会社クラウドワークス　　上場取引所　東
コード番号　　3900　　ＵＲＬ　https://crowdworks.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）吉田　浩一郎
問合せ先責任者　（役職名）取締役　　（氏名）月井　貴紹　　（ＴＥＬ）　03(6450)2926

定時株主総会開催予定日　2026年12月23日　　配当支払開始予定日　―
有価証券報告書提出予定日　2026年12月22日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)※	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	21,564	△4.8	9,019	△5.7	467	△73.4	1,024	△55.0
2025年９月期	22,657	32.4	9,566	21.9	1,759	31.2	2,274	30.6

（注）包括利益　2026年９月期　111百万円（－%）　2025年９月期　△208百万円（－%）

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年９月期	478	△72.8	72	－	4.58	4.58
2025年９月期	1,759	26.9	△257	－	△16.28	－

	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	%	%	%
2026年９月期	1.1	3.2	2.2
2025年９月期	△3.9	12.0	7.8

（参考）持分法投資損益　2026年９月期　－百万円　2025年９月期　△22百万円

※EBITDA（Non-GAAP）は、財務会計上の数値（GAAP、日本基準）から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	14,259	6,857	45.4	408.62
2025年９月期	15,690	6,746	40.7	403.97

（参考）自己資本　2026年９月期　6,471百万円　2025年９月期　6,381百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	△198	△533	△604	6,945
2025年９月期	1,738	△1,061	1,490	8,282

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2026年９月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2027年９月期（予想）	－	－	－	－	－		－	

（注）2027年９月期の配当予想は未定であります。

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA（Non-GAAP）		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	19,000～20,000	△11.9～△7.3	7,700～8,000	△14.6～△11.3	△250～100	―	200～550	△80.5～△46.3	―	―	―	―

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規　ー社　（社名）ー、除外　4社　（社名）株式会社CLOCK・IT、株式会社AI tech、Peaceful Morning株式会社、skyny株式会社

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	15,837,159株	2025年９月期	15,795,959株
②　期末自己株式数	2026年９月期	185株	2025年９月期	185株
③　期中平均株式数	2026年９月期	15,825,483株	2025年９月期	15,790,124株

（参考）個別業績の概要

１．2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	12,572	△6.5	516	△67.1	620	△61.2	359	―
2025年９月期	13,440	1.9	1,569	10.7	1,601	10.2	△396	―

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年９月期	22.71	22.67
2025年９月期	△25.11	―

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	13,223	7,061	52.0	434.24
2025年９月期	13,972	6,713	46.5	411.50

（参考）自己資本　2026年９月期　6,876百万円　2025年９月期　6,499百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結貸借対照表 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 7
連結損益計算書 …… 7
連結包括利益計算書 …… 8
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 12
(会計方針の変更に関する注記) …… 12
(継続企業の前提に関する注記) …… 12
(セグメント情報等の注記) …… 12
(１株当たり情報) …… 15
(重要な後発事象) …… 16

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。また、企業においては、人手不足を背景とした省力化・業務効率化へのニーズの高まりなどを受け、設備投資にも持ち直しの動きが見られました。一方で、物価上昇の影響に加え、米国の通商政策や中東情勢、金融資本市場の変動等に注意を要するなど、企業を取り巻く経営環境の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

労働市場においては、雇用情勢に改善の動きが見られる一方で、構造的な人手不足と賃上げの進展を背景に、企業における人材確保は引き続き重要な経営課題となっています。このような状況のもと、企業では人手不足への対応や生産性向上を目的として、DXやAXの推進に加え、外部人材の活用や業務プロセスのアウトソーシング、業務の自動化を組み合わせた柔軟な業務運営へのニーズが高まっています。また、AIの活用が進展する中、エンジニア市場においては、AIやデータを活用した設計・開発・分析等の高度なスキルを有する人材への需要が高まるとともに、エンジニアに求められるスキルの高度化・専門化が進んでいます。

また、個人においては、働き方やキャリアに対する価値観の多様化を背景に、自律的なキャリア形成やライフステージに応じた柔軟な働き方へのニーズが高まっています。一方で、企業では組織内の連携やコミュニケーションの強化を目的としたオフィス回帰の動きも見られるなど、個人と企業の双方にとって最適な働き方を模索する状況が続いています。

このような社会・経済環境のもと、当社グループは「個のためのインフラになる」をミッション、「人とテクノロジーが調和する未来を創り、個の幸せと社会の発展に貢献する」をビジョンとして掲げ、フリーランス人材を中心とした人材マッチングサービス及び企業の生産性を向上するDX・AIコンサルティングを展開しています。2026年9月末時点で登録ユーザー数は815.7万人（前年同期比+71.9万人）、登録クライアント数は113.2万社（前年同期比+6.0万社）となりました。当連結会計年度においては、既存事業の収益基盤の強化に加え、DXコンサル事業の拡大及びAI領域における新たな事業の立ち上げに注力してまいりました。

既存事業の主軸であるマッチング事業においては、企業におけるAI活用の進展に伴い変化する人材ニーズを捉え、付加価値の高いサービス提供により、1社あたりの契約単価向上に向けた取り組みを進めております。また、企業のDXニーズへの対応を強化するため、2025年に発足した株式会社クラウドワークス コンサルティングを中心に、グループ全体での事業成長に取り組んでおります。当連結会計年度においては、コンサルタント及び常駐エンジニアの採用強化を進めるとともに、業務プロセス再設計の支援実績を横展開可能なモデルとして体系化するなど、事業拡大に向けたサービス提供体制の強化に取り組みました。さらに、企業におけるAI導入・活用の進展に伴い、新たな人材需要や業務効率化・自動化に向けたニーズが生まれる中、AI技術者・専門家が集まる仕事マッチングサービス「AIクラウドワークス」の立ち上げ、AI領域における新たな事業基盤の構築を推進しました。今後も「AIならクラウドワークス」を掲げ、AI人材と企業のマッチング機会の拡大に加え、中堅・中小企業を対象にAIを前提とした業務変革や生産性向上に向けた支援を強化し、顧客基盤の拡大に取り組んでまいります。

ビジネス向けSaaS事業においては、従業員の工数を可視化する生産性向上SaaS「クラウドログ」を提供しています。また、「クラウドログ」により取得した工数データを活用し、経営課題の把握や業務効率改善に向けた提案を行うとともに、正社員コンサルタント及びフリーランス人材を活用したコンサルティング、開発、RPA導入等を通じたDX支援にも取り組んでおります。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高は21,564,483千円（前年同期比4.8%減）、売上総利益は9,019,626千円（前年同期比5.7%減）、営業利益は467,266千円（前年同期比73.4%減）、EBITDA（Non-GAAP）は 1,024,290千円（前年同期比55.0%減）、経常利益は478,297千円（前年同期比72.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は72,535千円（前年同期は257,066千円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

①　マッチング事業

売上高は20,505,118千円（前年同期比4.4%減）となり、セグメント利益は520,717千円（前年同期比70.4%減）となりました。

②　ビジネス向けSaaS事業

売上高は916,022千円（前年同期比16.6%減）となり、セグメント損失は34,739千円（前年同期のセグメント利益は53,933千円）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における総資産は14,259,813千円となり、対前期末比で1,430,977千円減少いたしました。流動資産は対前期末比で1,618,336千円の減少となり、その主な内訳は、現金及び預金が1,301,319千円減少したものであります。固定資産は対前期末比で187,358千円の増加となり、その主な内訳は、のれんが196,158千円減少したものの、有形固定資産が419,111千円増加したものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債は7,402,444千円となり、対前期末比で1,542,282千円減少いたしました。流動負債は対前期末比で1,094,076千円の減少となり、その主な内訳は、１年内返済予定の長期借入金が40,368千円、契約負債が98,017千円、未払法人税等が539,910千円、預り金が230,047千円減少したものであります。固定負債は対前期末比で448,206千円の減少となり、その主な内訳は、長期借入金が565,720千円減少したものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は6,857,368千円となり、対前期末比で111,305千円増加いたしました。純資産の増加の主な内訳は、親会社株主に帰属する当期純利益72,535千円の計上によるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は6,945,433千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による支出は198,262千円となりました。主なキャッシュ・フローの増加要因は、税金等調整前当期純利益417,426千円、減価償却費79,174千円、のれん償却費478,362千円、減損損失72,796千円、未収入金の減少241,691千円によるものであります。一方で主な減少要因としては、未払消費税の減少174,927千円、預り金の減少230,047千円、法人税等の支払額911,726千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による支出は533,874千円となりました。主なキャッシュ・フローの減少要因としては、有形固定資産の取得による支出374,227千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による支出は604,801千円となりました。主なキャッシュ・フローの減少要因としては、長期借入金の返済による支出606,088千円によるものであります。

（４）今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境においては、構造的な人材不足を背景とした企業の人材確保・生産性向上に対する需要が引き続き見込まれる一方、生成AIの急速な普及や企業の働き方の変化に伴い、企業が求める人材要件やサービス内容は高度化・多様化しております。また、企業のDX推進に加え、AIを活用した業務効率化や事業変革への需要は、今後も一層拡大することが予想されます。

このような中、当社グループは、成長領域であるAI事業及びDX/AXコンサル事業の拡大と、既存事業の収益力回復に取り組んでまいります。AI事業においては、中堅・中小企業を中心としたAI導入・活用支援を推進するとともに、サービスの拡充を図ってまいります。DX/AXコンサル事業においては、前期に実施した人材採用や事業再編の成果を活かし、稼働人員の拡大及び収益性の向上を目指してまいります。また、既存事業においては、市場環境の変化に即したサービスの提供及び営業体制の強化を進め、収益基盤の強化を図ってまいります。このような方針のもと、2023年に掲げた中期経営目標「YOSHIDA300」（売上高300億円、EBITDA（Non-GAAP）25億円、営業利益成長率+10%以上）の達成を目指してまいります。

以上により、2027年９月期の当社グループの業績は、売上高は19,000百万円～20,000百万円は（前年比11.9%～7.3%減）、売上総利益は7,700百万円～8,000百万円（前年比14.6%～11.3%減）、営業利益は△250百万円～100百万円（前年度467百万円）、EBITDA（Non-GAAP）は200百万円～550百万円（前年比80.5～46.3%減）を見込んでおります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性の観点から日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,090,366	6,789,046
売掛金及び契約資産	2,148,181	2,040,505
未収入金	832,477	590,785
その他	436,561	487,830
貸倒引当金	△21,376	△40,295
流動資産合計	11,486,209	9,867,873
固定資産		
有形固定資産		
建物	124,334	341,801
減価償却累計額	△114,282	△28,307
建物（純額）	10,051	313,493
工具、器具及び備品	32,072	171,963
減価償却累計額	△22,211	△46,433
工具、器具及び備品（純額）	9,861	125,530
有形固定資産合計	19,913	439,024
無形固定資産		
のれん	3,232,290	3,036,131
その他	1,379	729
無形固定資産合計	3,233,670	3,036,861
投資その他の資産		
その他	961,440	927,901
貸倒引当金	△10,441	△11,846
投資その他の資産合計	950,998	916,055
固定資産合計	4,204,581	4,391,940
資産合計	15,690,790	14,259,813

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
１年内返済予定の長期借入金	597,062	556,694
未払金	1,715,252	1,852,235
未払法人税等	577,786	37,875
預り金	1,278,075	1,048,028
契約負債	526,152	428,135
その他	898,745	576,028
流動負債合計	5,593,074	4,498,997
固定負債		
長期借入金	3,315,071	2,749,351
その他	36,581	154,095
固定負債合計	3,351,653	2,903,447
負債合計	8,944,727	7,402,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,803,168	2,818,448
資本剰余金	2,907,611	2,922,939
利益剰余金	624,970	697,505
自己株式	△262	△262
株主資本合計	6,335,487	6,438,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,566	32,680
その他の包括利益累計額合計	45,566	32,680
新株予約権	213,087	184,331
非支配株主持分	151,922	201,724
純資産合計	6,746,063	6,857,368
負債純資産合計	15,690,790	14,259,813

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	22,657,413	21,564,483
売上原価	13,090,588	12,544,857
売上総利益	9,566,824	9,019,626
販売費及び一般管理費	7,807,712	8,552,359
営業利益	1,759,112	467,266
営業外収益		
預り金失効益	74,344	79,830
為替差益	7,736	15,555
保険解約返戻金	23,844	－
その他	39,477	75,794
営業外収益合計	145,402	171,180
営業外費用		
支払利息	53,518	55,000
持分法による投資損失	22,041	－
支払手数料	38,088	88,274
出資金運用損	15,957	12,583
その他	15,714	4,291
営業外費用合計	145,321	160,149
経常利益	1,759,193	478,297
特別利益		
新株予約権戻入益	778	11,925
投資有価証券売却益	185,307	－
特別利益合計	186,085	11,925
特別損失		
減損損失	1,075,141	72,796
投資有価証券評価損	245,701	－
特別損失合計	1,320,843	72,796
税金等調整前当期純利益	624,435	417,426
法人税、住民税及び事業税	756,015	309,204
法人税等調整額	82,181	△16,607
法人税等合計	838,196	292,597
当期純利益又は当期純損失（△）	△213,760	124,829
非支配株主に帰属する当期純利益	43,306	52,294
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△257,066	72,535

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
当期純利益又は当期純損失（△）	△213,760	124,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,153	△12,885
その他の包括利益合計	5,153	△12,885
包括利益	△208,607	111,944
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	△251,913	59,649
非支配株主に係る包括利益	43,306	52,294

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,784,693	2,889,136	1,165,598	△237	6,839,190
当期変動額					
新株の発行	18,475	18,475			36,950
剰余金の配当			△283,561		△283,561
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△257,066		△257,066
自己株式の取得				△25	△25
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	18,475	18,475	△540,628	△25	△503,702
当期末残高	2,803,168	2,907,611	624,970	△262	6,335,487

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	40,412	40,412	316,241	108,616	7,304,460
当期変動額					
新株の発行					36,950
剰余金の配当					△283,561
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）					△257,066
自己株式の取得					△25
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5,153	5,153	△103,154	43,306	△54,694
当期変動額合計	5,153	5,153	△103,154	43,306	△558,396
当期末残高	45,566	45,566	213,087	151,922	6,746,063

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,803,168	2,907,611	624,970	△262	6,335,487
当期変動額					
新株の発行	15,280	15,280	－	－	30,560
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	－	48	－	－	48
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	－	－	72,535	－	72,535
自己株式の取得	－	－	－	－	－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	－	－	－	－	－
当期変動額合計	15,280	15,328	72,535	－	103,144
当期末残高	2,818,448	2,922,939	697,505	△262	6,438,631

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	45,566	45,566	213,087	151,922	6,746,063
当期変動額					
新株の発行	－	－	－	－	30,560
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動	－	－	－	－	48
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	－	－	－	－	72,535
自己株式の取得	－	－	－	－	－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△12,885	△12,885	△28,755	49,802	8,160
当期変動額合計	△12,885	△12,885	△28,755	49,802	111,305
当期末残高	32,680	32,680	184,331	201,724	6,857,368

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	624,435	417,426
減価償却費	62,002	79,174
のれん償却額	550,966	478,362
減損損失	1,075,141	72,796
投資有価証券評価損	245,701	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△185,307	－
持分法による投資損益（△は益）	22,041	－
株式報酬費用	△91,995	－
売上債権の増減額（△は増加）	△36,198	107,675
未収入金の増減額（△は増加）	109,516	241,691
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,412	20,323
未払金の増減額（△は減少）	33,375	△63,016
未払消費税等の増減額（△は減少）	△32,495	△174,927
預り金の増減額（△は減少）	△19,999	△230,047
契約負債の増減額（△は減少）	△32,689	△98,017
その他	34,695	△99,559
小計	2,357,778	751,882
利息及び配当金の受取額	8,944	16,582
利息の支払額	△53,518	△55,000
法人税等の支払額	△574,907	△911,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,738,297	△198,262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	－	△374,227
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,515,552	－
子会社株式の条件付取得対価の支払額	－	△155,000
投資有価証券の売却による収入	1,825,106	－
その他	△371,062	△4,646
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,061,508	△533,874
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	△1,200,000	－
長期借入れによる収入	3,735,000	－
長期借入金の返済による支出	△777,237	△606,088
株式の発行による収入	26,569	13,730
配当金の支払額	△283,561	－
その他	△10,025	△12,443
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,490,746	△604,801
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,167,535	△1,336,938
現金及び現金同等物の期首残高	6,114,835	8,282,371
現金及び現金同等物の期末残高	8,282,371	6,945,433

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、「マッチング事業」、「ビジネス向けSaaS事業」の２つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

「マッチング事業」は、主にインターネット上で企業と個人がマッチングするサービスの運営を行っています。

「ビジネス向けSaaS事業」は、企業向けの業務管理ツールの提供を行っています。

２．報告セグメントごとの売上高・利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

３．報告セグメントごとの売上高・利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自　2024年10月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注１）	調整額	連結財務諸表計上額
	マッチング	ビジネス向けSaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	2,041,389	19,070	2,060,459	98,290	－	2,158,749
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	19,398,343	1,078,578	20,476,922	21,741	－	20,498,663
顧客との契約から生じる収益	21,439,733	1,097,648	22,537,381	120,031	－	22,657,413
その他の収益	－	－	－	－	－	－
(1) 外部顧客への売上高	21,439,733	1,097,648	22,537,381	120,031	－	22,657,413
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	315	315	－	△315	－
計	21,439,733	1,097,963	22,537,696	120,031	△315	22,657,413
セグメント利益又は損失（△）	1,759,453	53,933	1,813,386	△54,274	－	1,759,112
その他の項目						
減価償却費	62,002	－	62,002	－	－	62,002
のれん償却額	467,487	83,479	550,966	－	－	550,966

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりま

す。

２．セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

当連結会計年度（自　2025年10月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注１）	調整額	連結財務諸表計上額
	マッチング	ビジネス向けSaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,616,339	700	1,617,039	124,020	－	1,741,060
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	18,888,353	915,270	19,803,623	19,800	－	19,823,423
顧客との契約から生じる収益	20,504,693	915,970	21,420,663	143,820	－	21,564,483
その他の収益	－	－	－	－	－	－
(1) 外部顧客への売上高	20,504,693	915,970	21,420,663	143,820	－	21,564,483
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	425	52	478	－	△478	－
計	20,505,118	916,022	21,421,141	143,820	△478	21,564,483
セグメント利益又は損失（△）	520,717	△34,739	485,978	△18,711	－	467,266
その他の項目						
減価償却費	78,661	512	79,174	－	－	79,174
のれん償却額	462,557	15,804	478,362	－	－	478,362

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

２．セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	403.97円	408.62円
１株当たり当期純利益 又は１株当たり当期純損失（△）	△16.28円	4.58円
潜在株式調整後１株当たり当期純利益	－円	4.58円

（注）１．１株当たり当期純利益及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

２．前連結会計年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの１株当たり当期純損失金額であるため、記載しておりません。

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益 又は１株当たり当期純損失（△）		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△257,066	72,535
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円）	△257,066	72,535
普通株式の期中平均株式数（株）	15,790,124	15,825,483
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	－	－
普通株式増加数（株）	64,081	24,080
（うち新株予約権（株））	(64,081)	(24,080)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第14回新株予約権　136,000株	第8回新株予約権　24,000株 第12回新株予約権　77,100株 第14回新株予約権　126,000株

（重要な後発事象）

該当事項はありません。